

款11 公債費

項1 公債費

目1 元金

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
6,287,840,000円	6,287,839,734円		266円

[地方債償還金] 6,287,839,734円 (その他特財 107,753,107円)

目2 利子

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
3,853,472,000円	3,846,080,792円		7,391,208円

[地方債利子] 3,836,253,201円 (その他特財 75,885,687円)

[一時借入金利子] 9,827,591円

目3 公債諸費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
4,828,000円	4,827,778円		222円

[登録等手数料] 4,827,778円

長期債（三泗伝染病隔離病舎組合分含む）については、前年度末未償還元金 105,601,438千円に対する償還元金 6,287,839,734円、利子 3,836,253,201円を支出し、一時借入金に対して、利子 9,827,591円を支出しました。

また、平成11年4月30日発行の登録債（5,816,600千円）にかかる引受手数料（発行額の0.063/100）3,664,458円及び登録手数料（発行額の0.02/100）1,163,320円をそれぞれ支出しました。

なお、財政構造の弾力性を判断する指標として、普通会計において、公債費比率（標準財政規模等に対する公債費充当一般財源等の比率）、公債費負担比率（一般財源総額に対する公債費充当一般財源の比率）がありますが、これらの比率が高くなることは、財政硬直化傾向を示すものです。下記の推移のとおり硬直化が進展しています。

年 度	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
公債費比率 (%)	12.0	12.9	12.9	12.8	12.5	12.6	12.5	12.9	13.6	14.4	15.0
公債費負担比率 (%)	12.0	11.7	11.5	11.6	11.6	11.7	11.7	12.2	13.6	14.9	15.2

款12 予備費

項1 予備費

目1 予備費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
30,000,000円	0円		30,000,000円

各費目への充用は行いませんでした。